

「物質・デバイス領域共同研究拠点」は国内5つの大学附置研究所が参画するネットワーク型の共同研究拠点ですが、第2期の重点的な取り組みとして若手研究者を研究チームのリーダーとして抜擢した長期滞在型の共同研究である CORE ラボがあります。

CORE ラボの一つとして、放射光を利用したナノ計測技術の共同研究が走っています。高輝度放射光は、プローブとして使用することで高い空間・時間・エネルギー分解能の分光分析が行えるため、複雑な形態をとる電池材料のオペランド(=動作中)計測にとって強力なツールとなり得ます。

この度、下記日程で新進気鋭の CORE ラボ若手研究者 4 名による平成29年度成果報告会を開催することとなりました。年度末のお忙しい時期ですが皆様の御参加を心よりお待ちしております。

平成29年度 CORE ラボ 研究成果報告会

「次世代エネルギーデバイスの放射光オペランドナノ顕微分光解析」

日時：2018年3月14日(水) 13:30～17:00

場所：多元研南総合研究棟 2 1F 大会議室 (旧 材料物性総合研究棟 1 号館)

主催：物質・デバイス領域共同研究拠点

共催：東北大学多元物質科学研究所・サステナブル理工学研究センター

プログラム

13:30～14:00 永村直佳 拠点 CORE ラボリーダー

(物質材料研究機構 先端材料解析研究拠点・研究員/東北大学多元研助教(兼務))

「趣旨説明/3D nano-ESCA 装置の現状と将来計画」

14:00～14:40 細野英司 (産業技術総合研究所 省エネルギー研究部門・主任研究員)

「二次電池材料研究における顕微分光」

14:40～15:00 休憩

15:00～15:40 堀場弘司 (高エネルギー加速器研究機構 物質構造科学研究所・准教授)

「KEK-PF 広エネルギー帯域 VUV-SX ビームライン BL-2 MUSASHI の性能と利用研究」

15:40～16:20 丹羽秀治 (筑波大学 数理物質系物理学域・助教)

「ナトリウム電池正極用プルシャンブルーの局所構造解析」

16:20～16:50 永村直佳 (物材機構/東北大)

「機械学習による放射光軟 X 線多次元イメージング実現への取り組み」

16:50～17:00 総括 本間格 (東北大学多元研・教授/拠点 CORE ラボ受入研究者)

問合せ先：東北大学多元物質科学研究所 本間研究室

TEL:022-217-5815/ e-mail: takayama@tagen.tohoku.ac.jp